

KORYO



議会だより



目次

- P.2 第2回定例会 特集
- P.4 議会News
- P.5 地域のつながり
- P.6 臨時会・定例会
- P.8 委員会の窓
- P.10 一般質問

130

令和7年9月1日

財政調整基金から繰入、

605万円の歳出の専決処分報告

馬見南3丁目 旧エコセンターの外装タイル剥落



▲ 剥落現場

この発端は、馬見南3丁目「旧エコセンターの外壁タイル剥落」公共施設包括管理業務委託において、年数回の目視点検はしていたでいるものの、**予想外の剥落**とのこと。
緊急で、他の剥落に備えた**安全確保のためのバリケードと外壁全体の点検**の打診検査を足場を組んで行うための補正予算。

剥落発生が、深夜だったことで
人的被害はなかったのは不幸中の幸い...



討論の様子

報告第16号：令和7年度広陵町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について

賛成討論

旧エコセンター外壁が剥落した件については、包括管理事業者がどこまで確認できたかの問題はあるものの、本事業者では修繕ができないと判断されたため、安全面において、緊急性を考慮し、町内事業者へ随意契約されたものと認識していることから、専決処分については賛成とする。

賛成討論

全員協議会時に提出依頼した見積書を個人的に精査したうえで、金額が概ね妥当であること、事案の緊急性及び選定業者の特性を踏まえ、本報告に賛成とする。

ただし、今後緊急性を問う場面でも、歳出金額の透明性を図ることを願う。

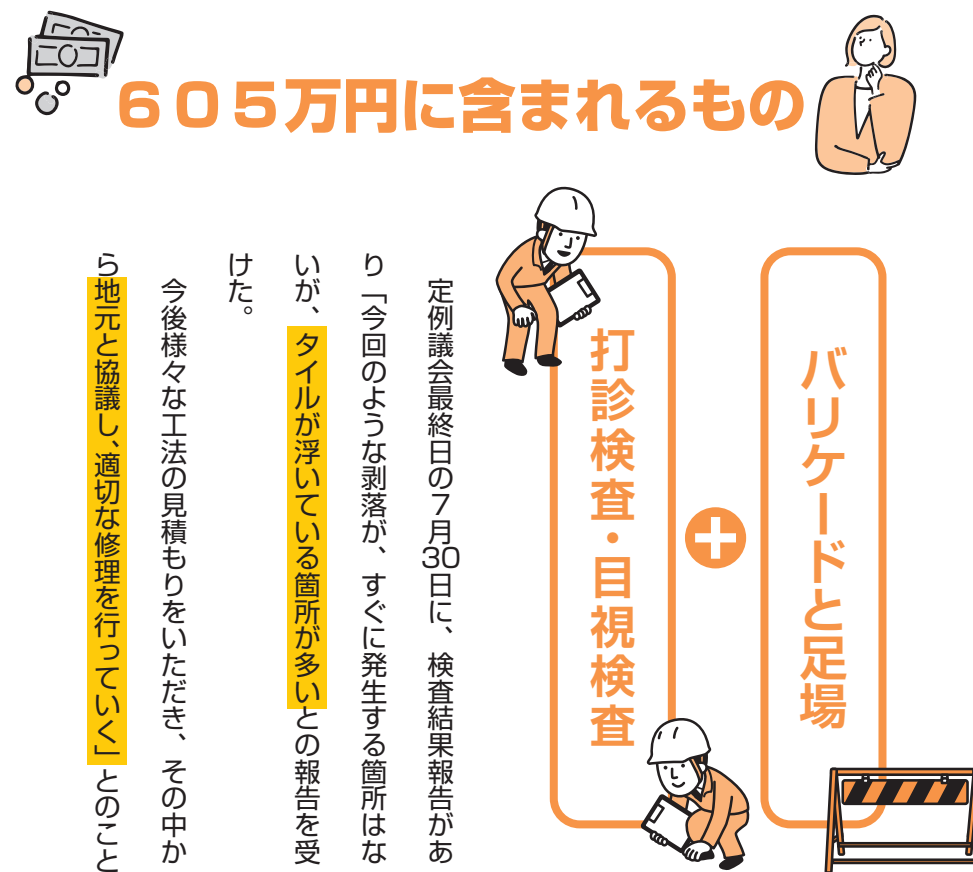
反対討論

本来役場職員がすべき管理業務を民間委託したところに問題の根源がある。何故このような事故が起きたのか議論し、総合的に判断すべきものであり、まして専決などで対応すべきものではない。実態は行政としての責任を果たせていないのではないか。

反対討論

中央公民館に続き旧エコセンター外壁剥落が起きたがこのようなことが起きないよう包括管理事業者毎年1億4,000万円も支払い、点検修理業務等を委託している。

ならば修理費はM社でなく包括管理事業者に発注すべきではないか、と思うので605万円の補正については反対とする。



※明細提示されなかったで、全員協議会にて指摘したところ提示していただきました。

今後も引き続き適正に行われるよう

経過を見守っていきます。



表紙説明
6月6日、真美二小の3年生が庁舎見学のため、議会訪問しました。
その時の元気いっぱいな児童の写真です。

第28回 地域のつながり

町内で活動している団体やサークルを紹介します。(活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています)

今回は 落語ボランティアさんと 東校区 お助け隊さん

『落語ボランティア』 仲西正雄(桜家正助)さん

★始めたきっかけは？

お笑いが好きで、50年ほど前から高齢者福祉施設で漫才や落語を披露していた。

平成9年から、福祉活動が公務として認められるようになり『落語プラス消防や警察関係の啓発などの小話』を組み合わせて、1時間ほど行うようになった。

★消防署を退職されてからは？

どうすれば続けられるだろうと思った。

今は、複数自治体の社会福祉協議会に、ボランティア登録をして、落語を披露することを続けている。

★ご苦労はありますか？

同じ訪問先で同じ落語を続けて披露しないように、記録を残している。

新しい落語を覚える期間は1か月ほど。

着付けはYouTube を見ながら自分でやっています。



「元広陵消防署長」

堅い場で堅い話は、覚えてもらえない。
面白い場だと覚えてもらえることを実感しているので、
これから、そんな場を作り出していきたい!

『東校区お助け隊』 代表 松川正樹さん(広瀬区)

★『東校区お助け隊』ができるまで

令和元年、地域の助け合いの輪を広げようと「広陵ささえ愛」の活動が始まり、各地区での交流や困りごと支援の取組が進んできました。

令和6年には、東校区でも住民アンケートを実施し、“ちょっとした困りごと”を支える可能性が見えてきました。他地区の好事例を参考に準備を重ね、令和7年4月、いよいよ『東校区お助け隊』がスタートしました!

★どんな活動をされていますか？

「電球を替えたいけど脚立に乗るのが不安…」

「家具をちょっと動かしたいけど1人では難しい…」

そんな日常の“ちょっとした困った”を手助けするのが、『東校区お助け隊』です。

対象は65歳以上。30分以内で終わる軽作業を1回300円でお手伝いします。

粗大ごみの搬出やごみの分別、部屋の掃除、庭の手入れ、電球の交換など…専門的でなく継続性のない作業が対象です。買い物代行は行っていません。

ちょっとした困りごと、遠慮なく頼んでください。



同時に、一緒に『お助け隊』活動
してくれる方も募集しています!

連絡先：広陵町社会福祉協議会（さわやかホール1階） TEL：0745-55-8300

議会 News ニュース

『やまと eco クリーンセンター』と 『やまと eco リサイクルセンター』内覧会

広陵町議会では4月28日(月)に山辺・県北西部広域環境衛生組合が整備を進めてきた新ごみ処理施設『やまと eco クリーンセンター』と『やまと eco リサイクルセンター』の内覧会に行きました。

『やまと eco クリーンセンター』は奈良県下の10市町村が共同で、1日当たり284トンの可燃ごみを処理することができ、ごみについて楽しく学ぶ「ごみミュージアム」とごみ焼却時に発生する熱を利用した温浴施設、ジム&スパが無料で使用できます。また、『やまと eco リサイクルセンター』は7市町村が共同で、1日当たり23.5トンの資源ごみ等を処理できる施設です。

環境にやさしく、安全性・安定性に優れ、循環型社会に寄与し、周辺地域との共生がとれる等を基本方針として整備されました。ごみ処理施設らしくない快適さであり、環境に関するイベントや環境学習の場として提供もされておられますので、是非みなさんも一度見学に行ってください。



岩国市議会 視察研修受入

5月13日(火)、山口県岩国市議会総務常任委員会の皆さまが行政視察のため広陵町を訪問されました。視察は役場3階大会議室で行われ、広陵町における公共施設の利活用について、総合政策課より説明を行いました。特に、長龍ブリューパークをはじめとするサウンディング調査の取組を事例に、民間活力を活かした施設の利活用や、町と事業者との対話の重要性について紹介しました。参加された委員の皆さまからは、成功に向けた工夫や課題について熱心な質問があり、終始活発な意見交換が行われました。今回の視察が今後の施策に役立つ機会となれば幸いです。



令和 7 年 5 月臨時会 議案採決状況一覧（○賛成 ×反対）														
※採決が分かれた議題のみを載せております。														
議 案	河野伊津美	八尾春雄	谷内和昭	小原薫	坂口友良	岡本晃隆	小西栄枝	笹井由明	谷禎一	坂野佳宏	青木義勝	山田美津代	吉村眞弓美	議決結果
議員提出議案第 4 号	×	○	○	×	×	×	×	×	議員は採決に加わりません	×	×	○	○	否決



賛成	反対
2月4日に契約が整い年度末までに納品が完了したのかといえ、4月に入ってから手直しや調整を行っていることと説明があり分かってきた。 年度末の実態は仕事が完了していないのに完了した事にして手続きすることが今までもそしてこれからのあるのだろうか。 県下の自治体職員に照会をかけたところ、年度末の完了を見越している場合もあるかもしれないがこれほどあからさまに予算決算の単年度主義を逸脱している事例はなかった。 長い間の悪しき因習ならば、この際監査委員による監査の実施で事の次第を明確にすることが必要ではないか。以上のことから、本決議については賛成とする。	本案は、成果品の納品後において、一部文言の整理、表現の内容の整理といった修正指示があり、この行為が会計年度を超えた事務執行であると疑義が生じたため、訂正説明と同時に、理事者から謝罪があった。これらの行為は、当初成果品の効力を失ったものではないと判断。出納整理期間までに支払業務の手続きをせしめることとし、本監査請求決議については反対とする。 議員提出議案第4号 監査請求に関する決議について

令和 7 年 7 月定例会 議案採決状況一覧（○賛成 ×反対）																
※採決が分かれた議題のみを載せております。																
議 案		河野伊津美	八尾春雄	谷内和昭	小原薫	坂口友良	吉川司	岡本晃隆	小西栄枝	笹井由明	谷禎一	坂野佳宏	青木義勝	山田美津代	吉村眞弓美	議決結果
議員提出議案第5号		×	○	×	×	○	×	×	○	×	議員は採決に加わりません。	×	○	○	×	否決



賛成	反対
減税は一時的な負担軽減にはなるものの、社会保障の安定財源を減らすことになる。また、財源不足から公的サービスの削減等により国民生活をより不安定にするおそれもあることから、社会保障制度を守り、財政の持続可能性を確保しつつ、真に必要な層への支援を実現するために、本意見書については、反対とする。 意見書の趣旨に概ね同意である。加えて国の予算は、国民の生活を守ることが目的と思う。現在の物価高は国民生活を圧迫している。直ちに5%の減税は不可欠だ。そして財源の捻出は政府の責任では。以上のことから本意見書については、賛成とする。 政府は消費税を社会保障費に使うというのが大企業の減税の穴埋めに使われているのは明らか。 物価高騰で7割の国民が望む減税を進めるためにこの意見書を通すことが広陵町議員としての務めだと思い、賛成とする。	議員提出議案第5号 物価高騰の緊急対策として消費税5%への減税を求める意見書について

令和 7 年第 3 回臨時会（令和7年 5 月 22 日）

議案番号	件 名	概 要
議案第 34 号	真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園改修工事に係る請負契約の締結について	真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園を認定こども園へ移行するための改修工事に関する請負契約締結
議案第 35 号	基幹系情報通信機器の買入れについて	基幹系パソコン110台の入れ替えをするための議案
議案第 36 号	第3分団消防ポンプ自動車の買入れについて	老朽化による、第3分団消防ポンプ自動車の買い替え
議案第 37 号	山辺・県北西部広域環境衛生組合規約の変更について	事務所の位置を「川原城町605番地」から「樺本町3246番地1」に変更
議員提出議案第 4 号	監査請求に関する決議について	PFI 業務 700 万円執行の真偽を求める監査請求

令和 7 年第 2 回定例会（令和7年 7 月 16 日～7 月 30 日）

議案番号	件 名	概 要
報告第 7 号	広陵町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	管理栄養士養成施設卒業者に係る、管理栄養士国家試験の受験資格としての栄養士免許取得の不要化
報告第 8 号	公用車物損事故による損害賠償額の決定に係る専決処分の報告について	公用車事故の損害賠償額決定、保険で全額補填
報告第 9 号	広陵町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	軽自動車税に関する事項及び固定資産税に関する事項において所要の改正
報告第 10 号	広陵町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	地域経済牽引事業の固定資産税免除を令和10年3月まで延長
報告第 11 号	広陵町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	法定軽減判定所得基準額を引上げる
報告第 12 号	広陵町議会議員及び広陵町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	選挙運動の公費負担限度額引上げと、選挙長等の費用弁償の改正
報告第 13 号	令和7年度広陵町一般会計補正予算（第1号）の専決処分の報告について	町議会議員の辞職に伴う補欠選挙費として、632万6,000円を追加計上
報告第 14 号	令和7年度広陵町一般会計補正予算（第2号）の専決処分の報告について	選挙費 開票関係者報酬の増額補正
報告第 15 号	令和7年度広陵町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の報告について	定額減税の調整給付金について不足額を追加で支給するため、1億3,382万3,000円を計上
報告第 16 号	令和7年度広陵町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について	馬見南3丁目集会所兼旧エコセンターの剥落事故を受け、外壁調査等委託料、605万円を計上
報告第 17 号	令和6年度広陵町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	年度内に完了しなかった事業費用、9億1,504万998円を翌年度へ繰越し
報告第 18 号	令和6年度広陵町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	建設改良費及び管路改良費、714万2,500円を翌年度へ繰越し
報告第 19 号	放棄した私債権の報告について	水道使用料債権放棄（失踪や破産等で徴収見込みがないもの）
議案第 38 号	令和7年度広陵町一般会計補正予算（第5号）	総合計画（中期計画）更新業務委託料や町制70周年式典運営委託料等を追加計上
議案第 39 号	たかいか橋改良に伴う橋梁下部工事（2工区）に係る請負契約の締結について	たかいか橋の幅員を広げるための橋梁下部工事（2工区）に係る請負契約締結
議案第 40 号	赤部26号線横断歩道橋整備工事に係る請負契約の変更について	赤部26号線横断歩道橋工事の工期を約2箇月延長する契約変更
議案第 41 号	赤部26号線横断歩道橋上部工整備工事に係る請負契約の変更について	赤部26号線横断歩道橋上部工工事の工期を約4箇月延長する契約変更
議案第 42 号	広陵町公立学校用情報通信機器の買入れについて	町立小中学校の児童・生徒用クロームブックを計3,563台購入する契約
議員提出議案第 5 号	物価高騰の緊急対策として消費税5%への減税を求める意見書について	物価高対策として消費税5%への減税を求める

委員会の窓

第2回定例会（7月議会）に上程され、総務文教委員会に付託された5件について審査を行いました。その結果は本議会に上程され採決されます。その主な内容と結果をお知らせします。

総務文教委員会

議案第38号 令和7年度広陵町一般会計補正予算（第5号）

Q 11月30日に開催される、町制70周年記念式典の規模・内容について、どのように計画しているか。

A 来賓450人を招待予定である。70年のあゆみをスライド投影、記念講演として広陵町にゆかりのある方に登壇いただき、盛り上げていただくよう計画している。

記念品として、地場産業の靴下を「70周年バージョン」として作成し、PRする予定である。

Q 総合計画（中期計画）更新業務委託について、どの程度まで業務委託するのか。職員では出来ないのか。

A 前期事業計画の客観的評価、住民2,000人対象のアンケート調査、子ども等へのヒアリングを行い、素案作成し新しい中期計画を策定予定である。

職員は、アンケート内容の作成、発送作業、事業ごとの資料更新作業を進め、コンサルタント会社には、とりまとめや字面などを整えていただく。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第39号 たかいか橋改良に伴う橋梁下部工事（2工区）に係る請負契約の締結について

Q 予定価格の算出と構造物の耐用年数の考え方について。

A 材料それぞれで耐用年数は異なるが、設計思想の中で目標耐用年数に見合ったものを必ず使う。それらを適正に組み合わせ、設計の中で取捨選択を行い、構造物・設計物を決定している。予定価格については、国土交通省、厚生労働省が適切価格を調査し、市場価格に則って決められたものを用いており、適正であると認識している。

全員一致で可決すべきものと決しました。



議案第40号 赤部26号線横断歩道橋整備工事に係る請負契約の変更について

Q 当初からどのような経緯で現在に至ったのか。

A 西小学校区通学路の合同点検で危険箇所として、この交差点が、地域住民からの要望もあり、安全対策として横断歩道橋を設置することとなった。最初は南北を渡るのみであったが、南側歩道を東西に渡ることにも必要との議論があり、現在のI字型になった。

全員一致で可決すべきものと決しました。



議案第41号 赤部26号線横断歩道橋上部工整備工事に係る請負契約の変更について

Q 真美ヶ丘から東向きに道路を下っていくと信号機があるが、その前に横断歩道橋を設置した場合、信号機が見えにくくなりそうだが、それは大丈夫だと以前答弁をもらっている。交通安全上大丈夫なのか再度確認したい。

A 横断歩道橋設置に際し、三次元化した道路動画を作成し検討した結果、それほど危険性は上昇せず、安全性も担保されている。

実際完成時に視覚的に検証し、予告信号が必要か否か警察と協議したい。

全員一致で可決すべきものと決しました。



議案第42号 広陵町公立学校用情報通信機器の買入れについて

Q 予備機を含めた購入台数は、3,563台と聞いているが、予備機の台数と割合を教えてください。

A 小学校で2,162台、中学校で937台、予備機464台の合計3,563台を購入予定。予備機の割合は、小中合計の15%である。

Q 予備機を実際に使用した台数は、どの程度か。

A 児童生徒の転入時や教職員の不足等に対し配付しており、現在予備機はない状況。

全員一致で可決すべきものと決しました。



補欠選挙による

当選議員のお知らせ

6月15日に広陵町議会議員補欠選挙が行われました。欠員1人に対し、立候補者が2人であり、選挙の結果、吉川司氏が当選人となりました。

また、吉川司議員は厚生建設委員に選任されました。広陵町議会は、吉川司議員を加えた14人という新体制で令和10年4月14日の任期まで、町民の皆さまのために日々精進してまいります。



吉川 司

厚生建設委員会

1名欠員となっていました、新議員である吉川司議員が構成員となりました。



委員長
岡本 晃隆



副委員長
小原 薫



委員
八尾 春雄



委員
吉川 司



委員
笹井 由明



委員
坂野 佳宏



委員
吉村 真弓美



教育

体育館に空調設備の設置を

教育長―令和8年度中に設置したい

全ての体育館に空調設備の設置を

教育

問 ①学校体育館への空調設備の設置に向けての現在の状況は。

②本当に令和8年度中に設置できるのか。

答 ①**教育長**：現在、どのような手法で行うのか、工期がどれくらいかかるのかの現地調査をしており、それを踏まえ、再度サウンディング調査を実施のうえ仕様書を作成し、国の交付金を活用して、令和8年度内の設置を目指す。

②**理事者**：調査したところ、可能であると聞いているので、実施に向けて進めていく。



その他の質問

①（仮称）リレーセンター広陵跡地利用検討委員会の設置及び地元等に対する環境整備費について



②議員の質問に対する答弁後の状況について



広陵元気号の運行

まちづくり

問 ①元気号での大和高田市立病院への乗り入れをお願いしたがその後の状況は。

②高齢者の免許証返納による本町の公共交通の考えは。

答 ①**町長**：一定の条件はあるものの、概ね了承を得ている。しかし、乗り入れとなれば、現在の運行体制を変える必要があり、運行車両も1台追加することになるため、慎重に検討していく。

②**理事者**：活性化協議会で意見を取り入れながら今後の公共交通のあり方、将来的な方向性を協議していく。また、車がなくても安心して暮らしていける町を実現したい。

広陵町のPR

まちづくり

問 ①PR看板は魅力を広く発信する手段として注目されているが、管理不十分な看板は撤去するのか、更新するのか。

②町内唯一の駅である箸尾駅に行くのに案内看板はないので、看板設置をお願いしたいが。

答 ①**町長**：適切な管理をされていない看板は、町の景観を損ね、老朽化が進むと、安全面でも懸念されることから、毎年予算内で少しずつ更新していく。

②**理事者**：箸尾工業団地の完成に伴い、人の流れを考慮して、案内看板設置を進めていく。



防災

ドローンの公共施設使用・許可

谷内



教育

全ての体育館に空調設備の設置を

小原

小中学校体育館の空調設備

谷内

学童スタッフから教員まで不足

坂口

高額な学生服

吉村

ほっとステーションの導入

吉村

異常な暑さへの対応について

岡本

登下校時の子ども達の暑さ対策を

山田



その他

町内の技能実習制度の現状は

坂口

住民のお声から

吉村

広域水道企業団の運営状況の考察

坂野

町長選公約

八尾

核兵器禁止条約

八尾

職員体制と待遇改善

小西

前町長の継続事業についての見解

青木

傍聴人数

今回の定例会傍聴者数は

のべ **24**人

HP
閲覧者数 **10,063**人
(4月1日～7月31日)

ご視聴いただき
ありがとうございました



福祉

高齢者や低所得者への熱中症対策を

山田



まちづくり

広陵元気号の運行

小原

広陵町のPR

小原

DX推進と協働のまちづくり

河野

中央公民館整備事業について

河野

公共物の管理体制は

坂口

町民対話推進の具体化

岡本

町長の政治姿勢と行政課題について

笹井

社会教育 報告書

八尾

はしお元気村の課題について

小西

合葬墓周辺の美化を

山田

振興会議の実態と支援について

吉川

目次

小原 薫	・・・・・・	P11
河野 伊津美	・・・・・・	P12
谷内 和昭	・・・・・・	P13
坂口 友良	・・・・・・	P14
吉村 眞弓美	・・・・・・	P15
岡本 晃隆	・・・・・・	P16
坂野 佳宏	・・・・・・	P17
笹井 由明	・・・・・・	P18
八尾 春雄	・・・・・・	P19
小西 栄枝	・・・・・・	P20
山田 美津代	・・・・・・	P21
青木 義勝	・・・・・・	P22
吉川 司	・・・・・・	P23



広陵町議会

一般質問



議長
谷 禎一
たに よし かず

一級建築士。昔は「困った時の谷（神）頼み」と称されておりました。東日本大震災で靴下9,000足を被災地13カ所に届けたことがその行動力を議会で発揮するよう押されて町議会議員に当選。大事にしている言葉は「仰いて天に愧じず、我がなすことは我のみぞ知る」。議員になってからは「職責を果す」ことを目標に議員活動をしてきました。自分の経験と知識が人の困りごとをどれだけ解決できるのか挑戦しています。愛情を注げば真切らない家庭菜園を楽しんでいます。

7月22日、23日及び24日に一般質問を行いました。質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細につきましてはインターネット中継、または会議録をご覧ください。

議会詳細はこちら



※会議録は、10月上旬に役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、町ホームページにも掲載する予定です。

小原 薫
こはら かのる



議員紹介 生年月 1964年10月(満60歳)



子どもたちと歩んだ日々を力に！

長年にわたり学童野球の指導を通じて、私が一貫して伝えてきたのは、感謝の心、あいさつの大切さ、そして礼儀を忘れないことです。技術の習得以上に、人として大切な資質を身に付けてほしいという思いを込めて指導してまいりました。

一方で、私自身も子どもたちからあきらめない心や仲間を思いやる姿勢など、多くのことを学びました。子どもたちと共に過ごした時間は、私にとってかけがえのない宝であり、全ての教え子が宝物です。

これからも議員として、青少年の健全育成と地域の未来のために全力を尽くしてまいります！





教育

体育館が快適になるよ！

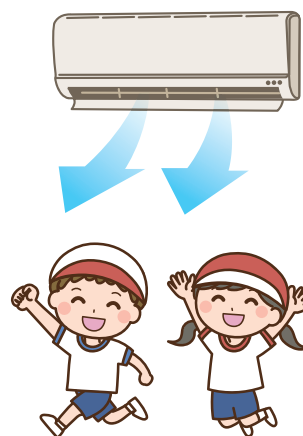
教育長―令和9年3月迄に整備

小中学校体育館の空調設備

教育

問 令和7年3月の定例会の質問に対して教育振興部長より小中学校体育館への空調設備設置について、2年後設置を目指したい意向があり、費用対効果や環境への配慮を考慮しつつ、早期の整備に向けてサウンディング型市場調査などを参考に研究していくとの返答に対して、現在の進捗状況について問う。

答 **教育長**：本年3月にサウンディング型市場調査を実施し複数の事業者から可能であるとの意見があり、7月上旬に状況確認をいただいた。今後、9月頃に仕様書作成のための詳細なサウンディング型市場調査を実施し、令和8年度内の整備に向け進める。



ドローンの公共施設使用・許可

防災

問 ドローン操縦士免許の教習場所には国土交通省に届出と許可が必要であり、教習場所にするには、施設管理者の許可が必要となる。本町においても許可を出し、教習場所として利用できれば、習得したい方が本町の施設で気軽に利用できることを問う。

答 **町長**：奈良県内においては、ドローンの講習場所は少なく、講習を受けられる方は、遠方での受講を余儀なくされている状況と聞いている。一部の自治体では、当該自治体の特認した事業者に関し体育館等の公共施設でのドローンの使用を許可している事例もあるので、本町においても、提携事業者が実施する技能教習等の実施場所として、本町の公共施設の使用を検討する。



中央公民館整備事業について

まちづくり

問 基本方針において示された第1ステップが着々と進行している。今後、第2ステップ「新複合施設」基本計画策定に向けたプロセスについて、住民意見聴取、説明会、条例改正等、現時点での町のスケジュールと見解を問う。

答 **町長**：第2ステップの検討は、令和9年度を目途に実施していく予定。出来る限り早期に、外部検討委員会等を設置し、住民の意見、議論上の意見等を踏まえ、適切に実施していく。新複合施設設置条例制定時に、公民館機能を明記する予定。令和4年2月の「広陵町がめざすべき公民館の在り方及び建替に関する検討結果」において、「将来世代へ負担を残さないように、全町民的な同意が必要」との資金計画に対する意見にも基づき、全体ビジョンを策定していく。



DX 推進と協働のまちづくり

まちづくり

問 令和6年3月に策定されたDX推進計画が進められている。以下、住民参画を軸とした協働のまちづくりについて、方針と具体的施策を問う。

- ・DX推進計画と住民協働
- ・ドローンの利活用と住民参加の推進
- ・地域情報共有アプリ導入
- ・社会的処方と住民参画の深化

答 **町長**：・児童見守りとしてBLEタグの導入。見守りスポット設置のほか、見守り人アプリをインストールした町民のスマホも見守りスポットとなる。
・ドローン運用人材の育成は有益。まずは防災分野への備えを行う。
・町内半数の区・自治会で地域メールを導入しているが、住民参画の情報発信には至っていない。今後、地域情報共有アプリとの連携と導入を検討する。
・社会のつながりが健康や生活の質向上につながると考えるため、サウンディング型市場調査等を実施し、実装に向け取り組む。



まちづくり

地域情報共有アプリ導入を！

町長―サービス実装に向け取り組む

谷内 和昭
たにうち かずあき



議員紹介 生年月 1957年4月(満68歳)

安全・安心で暮らしやすいまちづくりを！

サイクリング、釣り、登山を趣味としています。

私は、世代、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、立場や主張の差異を超え、この国に生きる全ての人々が包括される社会を目指しています。一人ひとりが生きがいと喜び、安心と希望を持って暮らせる平和な社会の実現に尽力いたします。

これからも「一人の声を大切に」という信念のもと、希望がある誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える、安心安全で暮らしやすい町づくりに貢献していきます。皆様の声を町政に届け、より良い未来を共に築いていきます。



議員紹介 生年月 1972年3月(満53歳)

ちょっと考えすぎる私だから見えるものがある

小学生のころにシャーロックホームズシリーズを読破するくらいの推理小説好きが高じて、いろんな方向から考えるクセがついたような気がします。このクセは、防災の場面でも、議員になった今でも、有益に働いていると思います。

ただ考えすぎてしまうので、チャンスを逃してしまうことも…考えを整理するスピードを身につけたいです。

議員というと、「取っつきにくい」イメージが私自身にあったため、そういうイメージを払拭する存在になりたいと思います。「正直は一生の宝」となり「正直者が馬鹿を見る」ことにならないように務めます。



河野 伊津美
こうの いづみ





教育

広陵町制服バンクの創設

理事者―提案の形で進むよう協議する

高額な学生服

教育

問 制服リユースを推進するため、社会福祉協議会と連携した「広陵町制服バンク」を立ち上げてはどうか。また、シャツ等インナーを安価な市販品で代用可能にするなど、家計負担を軽減する工夫はできないか。

答 理事者：社会福祉協議会と連携したリユース事業は前向きに協議を進める。市販品の着用については、現在保護者から要望がないため議論していないが、今後声が上がれば検討する。



ほっとステーションの導入

教育

問 「ほっとステーション」は、教職員の負担を軽減し、子どもと家庭に適切に寄り添うために設置された、天理市独自のワンストップ相談センターである。専門家チーム・行政部門の連携・子ども中心の視点を通じて、教育の質や働きやすさを同時に向上させる先進的な取り組みだ。広陵町にも設置してはどうか。

答 教育長：現在は町の学校支援室等がその役割を担っており機能している。専門窓口の設置は人的・財政的な課題が大きく「もう少し先」と考えるが、提案を受け、まずは教職員への実態調査と天理市への視察を実施する。

住民のお声から

その他

問 ① 図書館前の駐車場に区画線がなく、皆が自由に駐車するため「車が出せない」とのお声があった。作業をする職員の負担に配慮し、どのような方法で、いつまでに整備ができるのか。また、恒久的な計画についての考えはどうか。

② 図書館にある、おむつ交換台のカーテン設置について、応急処置であるため、突っ張り棒を使用している。安全という観点から、カーテンレールへ変更をお願いする。

答 ①町長：かぐや姫まつりまでに職員の負担にならないよう配慮し、トラロープを固定用のペグで固定し、利用頻度の高い部分に駐車区画を表示する。恒久的な整備は当面現状維持とし、将来の周辺再整備に合わせて総合的に検討する。

②教育長：カーテンレールは来年度予算で設置予定である。



その他の質問

プチ就労で介護予防



学童スタッフから教員まで不足

教育

問 学童スタッフから学校教員まで希望者が減り、現場は毎日の運営が綱渡りである。急な対応はやりくりができなくなるので人材バンクなどの設置も必要なのではないのか？ また人材派遣業者などは高額になり、財政にも響いてくるので教育関係の人材育成も必要なのでは。

答 教育長：教員は、県に配置要望しているが県でも人材の確保が十分でない。本町の会計年度任用職員の中から、教員免許を有する方に人員に不足が生じた際に学校に入ってもらえるようお願いをするなど、県に紹介している状況である。

町内の技能実習制度の現状は

その他

問 町内にも技能実習生や特定技能生の姿をよく見るが、共存共栄体制が必要なので、町の受入れ体制や支援策はどの様になっているか。

また、住民登録されている実態や、時代の流れから本町も先を見こして体制づくりが必要なのでは。

答 町長：技能実習生108名、特定技能生28名が住民登録されている。窓口では、出入国在留管理者の通訳支援事業に登録し、コミュニケーションを支援している。

また特定技能所属機関からも協力確認書の提出がなされている。

公共物の管理体制は

まちづくり

問 築50年近い馬見南3丁目の集会所の壁が落下した。以前には西体育館の屋根の一部が風で飛び近所の家の壁に穴があくなど危険極まりない。公共建物ではあるが、自治会の管理には限界があるので、古い公共物の管理体制はいかにすべきかを問う。

答 教育長：重大な事故と認識しており早急な安全確保のため、翌日にはバリカーを設置と共に専決処分て補正予算を編成した。管理は所管課だけではなく、総合政策課や建築技師を含めて協議し必要な経費を予算化していく。



まちづくり

自治会館壁落下事故危険だ

教育長―早期に改修し安心していただく

よしむら まゆみ
吉村 真弓美



議員紹介 生年月 1965年2月(満60歳)

「ありがとう」がわたしの原動力！

広陵町議会議員 4 期目を務める私。スポーツを愛し、特にテニスやハンドボールで培ったバイタリティが魅力です。朝は地元小学校の立哨から始まり、愛犬レオン(トイ・プードル)と夫との暮らしを大切にしています。夫の難病や、母の認知症と向き合いながらも、常に笑顔を絶やさず前向きに努力しています。住民の方からの「ありがとう」の言葉をやりがいに、今日も広陵町の未来のために奮闘しています。



議員紹介 生年月 1949年12月(満75歳)

学校教育と地域福祉の実践活動家！

企業の休日には軽四で学用品や古着の収集・バザー活動をしていた真美ケ丘のユニセフグループの出身です。当時から教育と福祉に特化した活動を町内でも拡げるために、平成5年に社協内ボランティアグループを設立し、現在も活動を続けています。

今、教育での最大の課題は不登校で、親の会の方たちと協力して町内初のフリースクールを立ち上げ、中学校での出席扱いになり、順次全小学校にも拡げていきます。

高齢障害福祉は、コミュニティソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーの資格を持っているので、地域生活支援・重層的支援体制整備を進めていきます。



さかぐち ともよし
坂口 友良



まちづくり

自治会館壁落下事故危険だ

教育長―早期に改修し安心していただく

その他

水道企業団の運営は順調か？

町長―住民に不利益ないよう進めていく

広域水道企業団の運営状況の考察

その他

問 2年間議論を重ね本年4月より事業開始となった。

今後は代表者議会となるため、町長、議長へ提言を込めて次の質問をしたい。

- ①庁舎の事務所使用料は貰えるのか。
- ②今後の職員採用は企業団採用か、採用基準に地域性は考慮されるのか。
- ③老朽管の優先更新の約束についての確認方法は。
- ④真美ヶ丘配水場は企業団に管理委託したのか。
- ⑤町内の工事発注は公認業者として優先指名できるのか。
- ⑥2か月集金になって収納率に変化はないか。また、漏水の減免対策についてどう考えるのか。
- ⑦説明を受けていた水道料金より、高くなっているが原因は。

その他の質問



オールマイティの職員の育成を



答 町長：設立時の基本計画に基づき、事業が進められている。広陵町として確認している内容に基づき答弁させていただきます。

- ①事務所使用料は無償で貸与しており、使用料は、県、各構成団体の公共施設は無償とすることで設立時に合意。なお、光熱水費や通信費等は企業団負担。
- ②企業団の職員は構成団体からの派遣で、人件費は各構成団体の給与体系に基づき企業団から支払われる。
- ③10年間、毎年4億円の事業費が約束されており、効率的に事業執行される。適時、進捗状況を確認し要望していく。
- ④真美ヶ丘配水場は企業団の所有物件として管理、運営される。
- ⑤令和11年度の統一を目指し、それまでは広陵町建設工事等入札関係規定による。
- ⑥収納率は日が浅いため回答できない。また、漏水の発見が遅れた場合でも減免制度があるので利用者に過大な負担は生じないと考えている。
- ⑦当初の説明した金額より上がったことはお詫びしたい。当初予定していた内容に変更が生じ、変更せざるを得なかった。

坂野 佳宏



議員紹介 生年月 1957年2月(満68歳)

愛犬マルと一緒に広陵町を見守っています

立候補の動機は、当時町長と議会が対立しており、区長をしていたのでこのままではアカンと思い、出馬しました。また、仕事も順調で余力もあったことにより、家族の反対を押し切って出馬しました。

モットーは伝統と文化を守る。町民の命と財産を守ることが根底にあります。



異常な暑さへの対応について

教育

問 幼保、こども園及び小中学校における熱中症対策の現状と今後に向けた対応について

答 教育長：暑さ指数(WBGT)を測る器具を配付し、一定以上の数値であれば、屋外の活動を制限することや、時間を決めて子どもたちに飲水させるようにしている。

また、登下校時には、日傘、ネッククーラーなどの体温を下げるための冷却グッズの使用の推奨及び下校時には、水筒への水の補給を促すなどの対策を講じている。

今後は、学校への冷水器の設置や、冷却グッズを冷やすための冷凍庫の設置などについても検討している。



議員紹介 生年月 1958年6月(満67歳)

いきいきとしたまちづくりを目指して

・中学校教員を経て、広陵町立広陵東小学校教頭、広陵町立広陵北小学校教頭及び校長を歴任し、退職後、広陵町議会議員に立候補し、現在に至る。

☆現在

- ・広陵町議会議員2期目
- ・厚生建設委員会委員長
- ・議会運営委員
- ※大字菅野区区長



岡本 晃隆



町民対話推進の具体化

まちづくり

問 ①町民との対話を重視する町長の方針実現に向けて、今以上に時系列的及び具体的な情報配信が必要と思うが、町長の考えはどうか。

②町ホームページに、区・自治会や町民団体に関する情報を。

- 答** ①町長：情報をいつ伝え、町民のみなさまにどのように行動していただきたいかに応じて、適切な情報配信媒体を選定し、より効果的に情報を伝えていけるようにしていく。
- ②現在のホームページは、町民の要望に応じて、リニューアルし、わかりやすい情報配信となるように努めている。だが、区・自治会や町民団体に関する情報を配信する個別のページは設けていない。今後、どのような地域情報の発信ページが必要かを検討していく。

まちづくり

町政を町民に分かりやすく

町長―的確迅速な情報配信を進める



その他

学校給食費は無償化を

町長―財政補填を待たずとも実施したい

町長選公約

その他

問 選挙公報で5分野の公約が明らかにされた。この年度では何をどこまで取り組むのか。

答 町長: 小中学校給食費の無償化は、県や国の財政補填を待たずとも実施したい。概ね2億円を要する。一過性でなく持続可能な制度とすることが重要だ。「民間交番の設置」は、関東エリアで先行実施され、住民のボランティア団体による見守りを強めたいとの思いがあり「取り締まりの強化」という志向ではない。真美ヶ丘地区の義務教育学校への移行は肯定的にとらえている。



その他の質問



2025
町長選・町議補選をふりかえって



核兵器禁止条約

その他

問 平成29年9月議会に提案された「核兵器禁止条約に我が国も参加することを求める意見書」は賛成多数で採択されているが、町議時代の貴殿は反対を表明された。現時点での認識はどうか。

答 町長: その当時より、我が国が非核化、核兵器の廃絶に取り組むという理念に対して賛同している。立場による変更はない。

社会教育 報告書

まちづくり

問 中央公民館整備事業に関わる議会からの資料請求(4月7日)に対しての回答が5月16日と遅れたことに関して報告書が出ている。令和6年度中になされた事業とは到底思えない。この件では、いったん立ち止まって取り組みを再検討し、性急な結論は控えてもらいたい。

答 町長・理事者: 成果品は3月31日に納品されていたが職員の認識不足から誤った説明となったことをお詫びする。また今後は中央公民館の利用者はもちろん現在は利用されていない方の意見もお聞きして、アンケートのみならず様々な媒体を活用した意見聴取を実施する。しっかりと議論を重ねたいので議会でも議論の上で協力願いたい。

町長の政治姿勢と行政課題について

まちづくり

問 ①今回の選挙戦では、数多くの公約の実現に向け、「これからも広陵町で安全で安心して暮らせる事が出来るよう、真面目にコツコツと取り組みます。」と述べられた。新町長としての政治姿勢と行政課題について問う。

②多くの公約の中で、次の新メニューについて問う。
・小中学校給食費の無償化
・民間交番の設置
・職員派遣による地域窓口の設置
・住民活力による移動支援の構築

答 町長: ①まちづくりを通して、「どんな状況、どんな状態であっても、誰もが等しくその場にたてる、誰でも活躍するチャンスがある。一人ひとりにその相応しい機会と、ルールが整備されている」そんな仕組みを持ち、また、そして「誰もが、誰にでも、優しくあれる町」は成長するんだという、新しい発展モデルをこの広陵町で創りたいと考えている。

②・小中学校の給食費を完全に無償化した場合、年間で2億円が新たに必要となる。まずは、今年度からの一部補助の導入も選択肢とし、完全無償化に向けて課題を解決してから準備を進める。

・民間交番については、日ごろから、ボランティアにより地域の見守りをしていただいている方々が地域の空き家、空きスペースを利用した活動拠点に集い、犯罪抑止等につながる仕組みを警察から指導と助言を頂き、

連携して作っていききたい。
・地域窓口の設置については、地域が主体的に地域づくりが出来るよう、デジタルツールの活用も視野に、個人に目を向けた生活の様々な困りごとなど、身近な相談相手となる取組を実施していく。
・住民活力による移動支援については、様々な法の規制があるが、将来的には日本版ライドシェアや自治体ライドシェアの検討、また買物定期送迎バスや地域を限定とした福祉有償運送の取組も必要と考えている。



その他の質問



人材育成について



まちづくり

小中学校給食費の無償化は

町長―課題を整理し、完全無償化へ準備

八尾 春雄
やつおはるお



議員紹介 生年月 1953年5月(満72歳)

住民合意のまちづくり

趣味 詩吟(新興吟詠会会員)、読書・古書店めぐり

1985年(昭和60年)3月に、妻の実家がある広陵町に住むようになり、これで40年になります。2008年(平成20年)4月の選挙で初当選以来、住民の方の期待と激励に支えられて議員活動をつとめてまいりました。住みやすい町に、安全で暮らせる町に、住民合意の町づくり、こんなテーマで活動しています。大阪に八尾市があるので「やつお」と言われることもあります。故郷は富山県で、7代前に「おわら風の盆」で有名な越中八尾で饅頭屋を営んでいたのが縁で「やつお」と名前がついたと聞いています。



議員紹介 生年月 1950年2月(満75歳)

生まれ育った広陵町に恩返しを!

「広陵町で生まれたことを誇りに、わたしを育てて頂いた広陵町の発展のために尽くしたい」と決意し、昭和43年4月に広陵町役場に奉職、その後44年間の行政経験を活かし平成28年4月の広陵町議会議員選挙に初当選させて頂いて以来4期目13年間にわたり広陵町全ての方々の声を町政に届けるべく、住みよい安全で安心なまちづくりに取り組んでまいりました。今後も皆さんの豊かな暮らしを心に刻み、いきいき健康・生きがいづくり、元気なふるさとづくりを中心に、全ての世代が輝く町の実現に誠心誠意、取り組んでまいります。



笹井 由明
ささいよしあき





教育

ウォーターサーバー設置を

理事者―王寺と同じものを検討する

登下校時の子ども達の暑さ対策を

教育

問 子ども達の登下校時暑い中ランドセルや日傘水筒など持って登下校に30分かかると子どもも多い。暑さをしのぐミストなど2,000円から買える、何か所か設置すべきでは。

また、家からの水筒の水を飲んでしまえば生ぬるい水道水しかない。王寺義務教育学校で設置している水道水直結のウォーターサーバーはリースで安い安全、以前から提案していたこのウォーターサーバー早く設置すべき。

答 理事者：同じものを2台検討している。ミストは安全性を考えて導入は難しい。



その他の質問



加齢による難聴者への補聴器支援を



高齢者や低所得者への熱中症対策を

福祉

問 災害級の暑さでクーラーのない方、壊れている方など高齢者や低所得者のためにさわやかホール3階の和室を避難所としては。

答 理事者：クーリングシェルターは県内のすべての地域で暑さが35℃を超えることが予想され熱中症特別警戒アラートが出されたときに設置される。それ以外は室内のクーラーにより涼しい環境で過ごすことが呼びかけられている。クーラーなどを使うことができない方には涼み処を設けている。

合葬墓周辺の美化を

まちづくり

問 令和元年供用開始の合葬墓は1,500体入るのに今現在107体では少なすぎる。このお墓の周りが殺風景で入るのをためられるのではないかと。芝桜やハナミズキなど植えて周辺の美化を図るべき。

答 理事者：墓じまいの方も増え合葬墓周知へ向けてまだご存じない方へ向け広報を活用して周知を図る。また、芝桜は粘土質では不向きなため花壇とか樹木を植え周辺の美化を図り静寂な雰囲気の中で個人をしのぶ場所としてふさわしい整備を図る。

議員紹介 生年月 1950年1月(満75歳)

私の好きな♡物、元気で活動出来る源

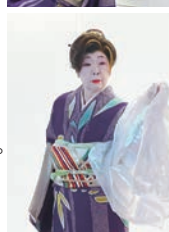
後期高齢者になりましたが、気持ちは若くありたいと思っています。若さを保つために一週間に一度の日舞のお稽古に励んでいます。が、膝が痛むので座る振り付けはタブーです。

あと、映画や韓ドラが大好きで、ジョニー・デップやヒョビンにはまっています。

好きなお花は父の故郷、長野県で見たたくさんのコスモスが風に揺れているさまが忘れられなくて大好きです。

色はピンクでこの色を着ているとテンションが上がります。

カラオケで歌うことも誤嚥防止にも良いということよくいえます。この項をご覧の皆様も一緒に行きませんか？



職員体制と待遇改善

その他

問 ①一般職員および会計年度任用職員の人数を問う。また、そのうち18歳未満の子どもを養育する、いわゆる子育て世代の職員数を問う。

②一般職員と会計年度任用職員における子の看護休暇の待遇が、無給と有給で異なる点について、待遇格差に対する認識を問う。

答 町長：①7月1日時点、正規職員239名、会計年度任用職員228名。

小学生以下の子を養育する職員は、正規88名、会計年度任用18名。

②会計年度任用職員は原則1年雇用。特別休暇の有給・無給に差があることを認識。国基準を踏まえつつ、本町独自の優遇措置も実施。今後も有給休暇の拡充を検討する。



はしお元気村の課題について

まちづくり

問 ①はしお元気村の位置づけは
②予約方法の見直しは

③中央公民館利用者の移行による影響と対応策は

答 町長：①箸尾準工業地域の企業操業が順次始まり、地域の流れも増加する見込み。箸尾地域には、地域拠点としての役割が一層求められると考えている。

②公民館機能の移転を適正に行い、予約システム等の改修を含め、利用者の利便性向上に対応。全体スケジュールを確認しながら進める。

③中央公民館職員が育成クラブと意見交換会を行い、要望を聴取。令和8年度には意見を反映し、はしお元気村・グリーンパレスの改修と諸室整備を実施。利用日や時間の調整で対応可能と判断し、両施設の活動継続に努める。今後も利用者の声を聴取し、進捗や方針を適宜説明する。



議員紹介 生年月 1985年4月(満40歳)

誰もが安心できるまちへ

大切にしていること 一 愛・感謝・成長・挑戦

小中学生男子3人の母で、趣味はジムでの筋トレ。推しはミュージシャンのNissy。生き生きとした人の写真を撮ることが好きで、広報編集委員としてもやりがいを持ち楽しく活動しています。Instagramでは奈良のイベント情報を発信し、地域活性化に取り組んでいます。軽快なフットワークを生かし、多くの声を伺いながら、地域の皆様と共に良い町づくりを進めます。



小西 栄枝



まちづくり

はしお元気村の今後について

町長―住民の皆様との協働で考えていく



まちづくり

対話と実行の両立は

町長―対話強化と支援策の加速へ

振興会議の実態と支援について

まちづくり

問 ①振興会議の実態は？
平成 30 年制定の広陵町中小企業・小規模企業振興条例に基づき設置された振興会議には、どのような業種・規模の事業者が参加し、これまでどの程度の関与があったのか。また、企業の声は実際に町の施策にどう反映され、成果はどう評価されているのか、具体的に伺う。

②話し合いの場は新設？
町長の言う「話し合う機会」は既存の振興会議か、それとも新たな場の設置を意味するのか。新設の場合、実施時期や対象者、意見を政策へ反映する仕組みをどう考えるかを問う。

③スピード感ある支援を
「話し合いばかりで具体策が見えない」との声もある。制度設計や成果目標を明確にした、実行重視の政策運営が必要と考えるが町の見解を問う。

答 ①**町長**：大学、商工会、金融機関、地元企業など 12 名で構成し、ヒアリング等を通じ意見を把握してきた。現在は意見交換が中心だが、今後は政策への的確な反映を図る。

②**町長**：振興会議とは別に、新たな意見交

換の場を検討している。具体的な時期や形式は未定だが、施策に反映する運用を目指し準備を進めている。

③**町長**：事業環境の変化に対応し、迅速かつ成果ある支援策が重要。関係機関と連携し、実効性ある制度構築と運用に努める。



前町長の継続事業についての見解

その他

問 ①中央公民館再整備基本方針で第一ステップの中央公民館機能をはしお元気村等に移転活用する、第二ステップの中央公民館と役場庁舎の複合施設を、グリーンパレスを解体して当地にさわやかホールと連携できる移転新築の基本方針の提示があり、現時点での見解を。であったが、答弁を不明と感じた故、一旦白紙として新たに組み込むとの解釈で良いのか、確認したい。

②本事案には住民及び近隣自治体職員の提言も踏まえて私見として、本庁舎の複合化は住民と職員の利便性でも適切では。現庁舎は老朽に加えて、今後業務もデジタル、IT化で効率化して職員の減少も想定されて、ペーパーレスで書庫も縮小する。ゆえ、庁舎のコンパクト化が可能となるのでは。

そして事柄により住民が来庁せずに行政サービスを受けてそれに伴い業務の減少で職員との会話対応で信頼感も生じるのでは。

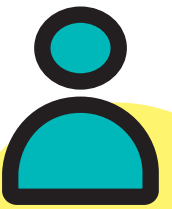
現庁舎は内水、洪水災害時は不適地であるゆえ、移転建替えの場合も跡地活用は法的規制地域でもあり、周辺住民の理解及び議会議決等課題解消が必要。

しかし公共施設の集約化ではさわやかホールとの隣接は適切では。計画策定にお

いては住民は仕事と日常生活が多忙で余裕もないのでは。当然行政を担う町長と職員が調査研究し、先進地視察研修して複数の試案を示して住民対話意見交換、議論の場を設置してそれを踏まえて素案を示し、更に議論を受けるべきでは、いかがか。

答 **教育長**：①第一ステップの中央公民館のはしお元気村等への機能移転は方針どおり進める。第二ステップは現況ではほとんど理解を得ていないので、一旦立ち止まって更に住民対話で多様な意見提案を受ける場を設置して前町長の提案も含めて議論を受け、それを踏まえて取り組みたい。

②提案も参考にして今後は説明を尽くして、反対の意見も提案と受け、理解を得るため全力で対応していきたい。



その他

中央公民館再整備基本方針

教育長―新たに住民対話で議論をいただく

吉川 つかさ



議員紹介 生年月 1996 年 5 月 (満 29 歳)

笑顔とガッツでトライ! 広陵町の若き力!

広陵町出身、ラグビー仕込みのガッツと笑顔で走り続ける吉川つかさです。趣味は町の散策と体を動かすこと、ラーメン店巡り、そして洗車です。

広陵町商工会青年部や葛城青年会議所、そして広陵少年ラグビークラブなど地域活動を通じて、子育て支援・防災・産業応援に取り組む広陵町議会最年少議員です。モットーは「誰もがトライできるまちへ」。一人ひとりの声を力に、広陵町をもっと元気に、もっと誰もがチャレンジしやすいまちにしていきたいです! どうぞよろしくお願いいたします。



議員紹介 生年月 1942 年 4 月 (満 83 歳)

34年間の経験を、住民視点で是非を

現在9期目を努めています、83歳のおじいちゃん議員です。よろしくお願いします。

趣味は、高齢ですので、身体機能維持のため体操を続けています。

モットーは、施策ごとに住民視点で、将来においても持続可能か、費用対効果はどうか。

議員になった動機は「暮らしよい町づくりを」「俺がやらなきゃ誰がやる」との信念で。



青木 義勝



議会日誌



5月

19日 議員懇談会
22日 議会運営委員会
第3回臨時会

27・28日

総務文教委員会
厚生建設委員会
正副議長研修会

6月

20日 箸尾工業団地完成式

7月

1日 吉村新町長との懇談会
4日 全員協議会
10日 議会運営委員会
常任委員長会

16日 第2回定例会（初日）

22日 第2回定例会（2日目）

23日 第2回定例会（3日目）

24日 第2回定例会（4日目）

25日 総務文教委員会

30日 議会運営委員会

第2回定例会（最終日）

8月

7日 第1回広報編集委員会

14日 第2回広報編集委員会

19日 第3回広報編集委員会

20日 王寺町への広報視察研修

27日 総務文教委員と教育委員の懇談会

広報編集委員のお気に入り1枚



議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議員または事務局員が写真撮影に伺うことがございます。その際は、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記



6月15日に行われた選挙で吉村裕之新町長が当選され、同日の議員補欠選挙では吉川司議員が当選されました。広陵町議会14議席の大切な1議席が決まりました。今回の投票率は45%にとどまり、有権者の半数以上が投票に足を運ばれなかったことを私たち議会も重く受け止めています。

今後も町政に関心を持っていただけよう、わかりやすい情報発信に努めます。新しい町長のもとでも、住民の代表として「二元代表制」をしっかりと機能させ、より良い広陵町を築けるよう尽力してまいります。



町民に開かれた議会の実現への取組の一環として、議会だよりの一部をリニューアルしました。

広報編集委員会

委員長 吉村 眞弓
副委員長 八尾 春雄
委員 河野 伊津美
委員 小坂 薫
委員 小西 友枝
委員 栄枝



広陵町ホームページ
<https://www.town.koryo.nara.jp>

